

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 秋田県

本事業の担当部局名 人口戦略部男女共同参画推進課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1.1.2 結婚支援ボランティア等に関する取組							
個別事業名	結婚サポータースキルアップ事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和3年度			
総事業費(A)(円)	1,066,505	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	1,066,505			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	1,066,505							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	52,800	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	52,800	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	1,013,705	0	0	0	1,066,505		
	対象経費支出予定額	1,013,705	0	0	0	1,066,505		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 秋田県は、若年層の県外流出による社会減と、婚姻件数と出生数の減少による自然減により人口減少に歯止めがかからない状況である。 県人口の自然減抑制のため、若年層に向けたライフプランを学び考える機会の充実や地域全体で結婚・子育てを応援する機運の醸成のほか、あきた結婚支援センターを本県の結婚支援の中心に位置づけ、結婚・出産につながる独身者の出会いの機会の創出に向けた取組の充実を図る。</p> <p><本個別事業の位置付け> 秋田県では、現在策定中の県政運営指針である次期総合計画(R8～11)において、県民誰もが将来にわたって持続可能な地域社会を構築するための施策として「出会いから子育てまで希望がもてる社会を実現する」ことを掲げている。 本事業は施策2「出会いから子育てまで希望がもてる社会を実現する」のうち、「(2)若い世代のニーズに即した出会いイベントによる多数のマッチング機会の創出」する取組として、結婚サポーター等による出会い・結婚を支援する地域活動を促進していくこととしている。</p>						

番号	項目	内容
1	結婚サポーター研修会の開催(第1回・第2回)	<p>第1回、第2回共通 第1部【対象:新規サポーター】 モデルプログラムを基に秋田県が作成したマニュアルを用いて基礎研修を行う。</p> <p>第1回第2部【対象:既に研修を受講済みのサポーター】 ワークを組み込んだ研修会を開催する。</p> <p>第2回第2部【対象:既に研修を受講済みのサポーター】 ・出会いのイベントでの実践サポートについて、実践内容を振り返り、実践の場に参加できなかったサポーターと気づきや課題点等を共有する。</p> <p>(育成計画の策定) ・結婚支援ボランティアの育成方針、研修内容、フォローアップ、KPI等を定めた「令和8年度結婚支援ボランティア等育成計画書」を策定し、育成計画に基づき、結婚支援ボランティアを育成する。</p>
2	出会いイベントでの実践	<p>・県の育成計画に基づき、実践の場として出会いイベントに参加し、講師指導の下、サポートを行う。 ・サポートの際の気づき、課題点の確認を、参加したサポーター同士で行う。 ・イベント参加者との相談会を実施し、伴走型支援につなげる。</p> <p>※「出会い・結婚応援事業」で実施するイベントにサポーターが参加する。</p> <p>【伴走型結婚支援体制の整備】 ・あきた結婚支援センターを介して、相談者と結婚サポーターとの面談等の調整を行う。 ・また、面談(オンライン面談含む)等については、あきた結婚支援センター及び市町村等のブースや機器を使用し、相談者と結婚サポーターが相談できる体制を整備する。</p>
3	結婚サポーターの情報交換会の開催	<p>【対象:全てのサポーター】 ・第1回、2回研修会後に、オンラインで県内市町村会場を接続する。 ・また、全体での情報交換会終了後に、より身近な地域の結婚サポーターとの更なる交流を図ることが可能となり、地域に応じたネットワーク体制の構築を目指す。 ・地域のサポーターの具体的な取組の成功例や、課題について意見交換し、サポート活動に活かすために情報共有を図る。</p> <p>(ネットワークの構築) ・個別活動のみにならないよう、地域に応じた自主的なネットワーク体制の構築を目指すとともに、県が主導して、市町村間の連携した取組方法についての検討を支援する。</p>
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 課題1 支援の質の高度化</p> <p>課題1への対応 ・単なる傾聴に留まらず、成婚に向けたコーチングスキルを習得するためワークを組み込んだ研修を開催。</p>		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻件数		件	2,360 (R11年)	2,247 (R6年)
あきた結婚支援センター会員の成婚報告数		組	48 (R11年度)	30 (R6年度)	
あきた結婚支援センターの新規入会者数		人	600 (R11年度)	298 (R6年度)	
結婚を希望している未婚者のうち、婚活している人の割合		%	12.0 (R11年度)	8.0 (R7.10月)	
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.04 (R6年)	
	婚姻件数		件	2,247 (R6年)	
	婚姻率			2.5 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	「サポーター」の新規登録数	人	30 (R8年度)	3 (R7.12月末)
	②	研修受講者数	人	150 (R8年度)	34 (R7年度)
	③	ボランティア育成のための研修回数	回	2 (R8年度)	2 (R7年度)
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	60 (R8年度)	77 (R7年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	モデルプログラムによる取組がボランティア等の募集・育成・活動等に役立つと答えた職員の割合	%	75 (R8年度)	100 (R7年度)
⑤	結婚支援に対する理解、関心が深まったと回答したサポーターの割合	%	75 (R8年度)	81 (R7年度)	
⑥	実践の場で活動し、スキルアップしたサポーターの人数	人	10 (R8年度)	8 (R7.12月末)	
⑦	「サポーター」の支援を受けた利用者数	人	120 (R8年度)	96 (R7.12月末)	
⑧	「サポーター」の支援を受けた者の満足度	%	75 (R8年度)	32 (R7.12月末)	